

第63回 全国学校薬剤師大会



角館武家屋敷通り(写真提供:秋田県観光連盟)

平成25年
日時 **11月7日** 木
会場 **秋田ビューホテル**
秋田市中通2-6-1 TEL.018-832-1111



秋田県マスコット
スギッチ
H250122

主催/公益社団法人日本薬剤師会 一般社団法人秋田県薬剤師会

後援/文部科学省 公益財団法人日本学校保健会 秋田県教育委員会 秋田市教育委員会 秋田県学校保健連合会

目 次

1. 第63回全国学校薬剤師大会開催要項	2
2. 大会日程	3
3. あいさつ	4
4. 祝 辞	6
5. 表 彰	
(1) 平成25年度 日本薬剤師会学校薬剤師賞授賞者	13
(2) 平成25年度 日本薬剤師会学校薬剤師活動協力者感謝状授賞者	13
(3) 平成25年度 文部科学大臣表彰学校保健及び学校安全表彰受賞者	14
6. 特別講演	15
7. 懇親会	18
8. 大会役員名簿・実行委員会名簿	19
9. 全国学校薬剤師大会開催地状況	20

第63回全国学校薬剤師大会開催要項

1. 趣 旨

健康とは、単に疾病がないということではなく、身体的、精神的にも、そして社会的にも健全な状態にあることを言います。IT化された社会に生まれた子供たちの生活環境は、日々目まぐるしい変化を遂げており、人と人との絆を構築する間もなく、豊かな人間性を育てることが難しくなっています。平成21年に改正された「学校保健安全法」の趣旨から、学校における児童生徒等及び職員の健康の保持増進を図り、教育活動が安全な環境において実施されるよう、その具体的な取り組み方が問われ続けています。学校環境衛生の維持だけではなく、給食による食物アレルギー問題、薬物乱用防止活動は早急に対応を図るべき課題です。また、児童生徒のセルフメディケーションを育て、健康な生活を維持する能力を備えていただく必要性があります。既に昨年度からは、中学校において『医薬品の適正使用』が保健体育の授業に盛り込まれました。本年度からは高等学校において医薬品教育がはじまります。薬剤師は、測定したデータを根拠とし、また、様々な健康関連と医薬品情報を駆使して、助言活動を行ない、学校と強く結びついて児童生徒と職員の健全な教育環境を維持していかなければなりません。

本大会において、着実に進展しつつある少子超高齢化社会を背景に置いて、教育と学校薬剤師の在り方を見つめ直す機会とし、時代に要請される学校薬剤師像を探ることを目的といたします。

2. 主 題

生涯を通じて心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進
～ 生命（いのち）をはぐくむ学校薬剤師 ～

3. 主 催

公益社団法人 日本薬剤師会 一般社団法人 秋田県薬剤師会

4. 後 援

文部科学省 秋田県教育委員会 秋田市教育委員会
公益社団法人日本学校保健会 秋田県学校保健連合会

5. 日 時

平成25年11月7日（木）16：30～20：30

6. 日 程

16:00	16:30	17:30	18:30	18:40	19:00	20:30
受 付	開会式	表彰式	特 別 講 演	閉会式	休憩	懇 親 会

7. 大会・懇親会会場

秋田ビューホテル 大会会場 4階光琳の間
懇親会会場 4階飛翔の間
〒010-0001 秋田市中通2-6-1 TEL 018-832-1111

大 会 日 程

1. 開 会 式 16:30～

開会の辞	公益社団法人 日本薬剤師会学薬部会長	村 松 章 伊
あいさつ	大会会長 公益社団法人 日本薬剤師会会長	児 玉 孝
	大会実行委員長 一般社団法人 秋田県薬剤師会会長	松 田 泰 行
祝 辞	文部科学大臣	下 村 博 文
	公益財団法人 日本学校保健会会長	横 倉 義 武
	秋田県教育長	米 田 進
来賓紹介	秋田市教育長	越 後 俊 彦
	秋田県学校保健連合会会長	小山田 雍

2. 表 彰 式 17:00～

- (1) 日本薬剤師会学校薬剤師賞及び学校薬剤師活動協力者表彰
審査経過報告 公益社団法人 日本薬剤師会副会長 藤 垣 哲 彦
表彰状・感謝状授与 公益社団法人 日本薬剤師会会長 児 玉 孝
- (2) 文部科学大臣表彰学校保健及び学校安全表彰受賞者紹介
記念品贈呈 公益社団法人 日本薬剤師会会長 児 玉 孝
- (3) 謝 辞 近 藤 廣 樹

3. 特別講演 17:30～

演題	「解体新書と秋田蘭画」	
講師	秋田県立近代美術館 学芸主事	山 本 丈 志 氏

4. 閉 会 18:30～

閉会の辞	公益社団法人 日本薬剤師会常務理事	藤 原 英 憲
	司 会 A K T秋田テレビアナウンサー	谷 桐 子



あいさつ

第63回全国学校薬剤師大会会長

公益社団法人 日本薬剤師会 会長 児 玉 孝

第63回全国学校薬剤師大会が、高峰駒ヶ岳を背景に、日本海を臨み緑豊かで美しい自然に恵まれた秋田県秋田市で開催されますことを、心よりお慶び申し上げますとともに、平日のお忙しい中、全国の学校薬剤師の先生方にお集まりいただき、主催者として感謝申し上げます。

開催の準備、運営にあたられました秋田県薬剤師会の皆様をはじめ、日本学校保健会、秋田県学校保健会、秋田県教育委員会および関係の皆様のご尽力に対し、薬剤師を代表して敬意を表する次第でございます。

今夏は、記録的な猛暑と豪雨、竜巻なども発生し生命の脅威となる自然災害による出来事が起こりました。先の大震災による精神的な後遺症や、うつ、心身症、閉じこもりなど、心身の健康に関する様々な問題も依然としてあり、防災教育の充実と児童生徒を支援する心のケアの充実が社会から求められております。

一方、学校環境においては、不安な社会情勢が影響し、“いじめ問題”や違法ハーブ（薬物）問題が依然としてあり、また、厚生労働省研究班のインターネット使用実態に関する調査結果では、中高生の約51万数千人が病的な使用と判定され、睡眠障害等の恐れなどが指摘され、様々な心身の健康課題が発生しております。このような課題解決に対して、私共、学校薬剤師は学校環境の適正化において医薬品の適正使用や学習環境の改善を担当する者として、児童生徒が心身共に健康な学校生活を送れる環境づくりが大切であると考えとともに、その為のくすり教育や、学校環境衛生の向上等の具体的な活動がより重要と感じています。さらに、医師、歯科医師、薬剤師の学校三師が、今まで以上に連携を図り、学校関係者と協力し、多様化する社会的要請に対応することが求められていると強く感じております。

以上のような状況の下、「生涯を通じて心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進、生命（いのち）をはぐくむ学校薬剤師」という本大会のテーマは、まさに時宜を得たテーマと言えるでしょう。

最後になりましたが、本日、学校保健に関する功績により、栄えある文部科学大臣表彰、日薬学校薬剤師賞、感謝状を受賞されました先生方の永年に亘る活動に心から敬意を表しますと共に、本大会参加の皆様はじめ関係各位の今後のますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶といたします。



あいさつ

第63回全国学校薬剤師大会実行委員会委員長

一般社団法人 秋田県薬剤師会 会長 松田 泰行

第63回全国学校薬剤師大会の開催にあたり一言ご挨拶申し上げます。

秋田県薬剤師会が一般社団法人として、また秋田県学校薬剤師会が秋田県薬剤師会学校薬剤師部会としてスタートした初年度に、「生涯を通じて心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進 - 生命（いのち）をはぐくむ学校薬剤師 -」をテーマに秋田県秋田市で開催されますことは、大変光栄でありますとともにその任に重責を感じております。

あの悪夢のような東日本大震災から2年半を経過しながら、被災地の復旧、復興が順調に進んでいない現状にも関わらず、被災県からも多数のご参加を頂き、厚くお礼申し上げますとともに一日も早い復興をお祈り申し上げます次第です。

さて、近年の生活環境や社会環境の急激な変化で学校薬剤師の活動も変革の時を迎えております。インターネットを利用したMDMA等の違法薬物購入、喫煙、飲酒など薬物乱用防止教育を昨年から中学校で始まった「くすり教育」などを通して、薬剤師の専門的知識をもって教育現場と連携しながら様々な課題に取り組む必要があります。「生涯を通じて、心身の健康づくりに自ら取り組む子供の育成」のため、学校薬剤師の更なる活躍が期待されております。これを受けて、今年度から日本薬剤師会学校薬剤師部会が中心となり、若手学校薬剤師の育成やリーダー育成の講習会を始める計画となっております。

今大会の特別講演は、秋田県立近代美術館学芸主事 山本丈志先生をお迎えし「解体新書と秋田蘭画」と題してご講演をいただきます。山本先生は長年にわたり秋田蘭画についてご研究されておられますので、貴重なお話を拝聴できるものと期待しております

ところで、ここ秋田県は東北地方の日本海に面する県ですが、沢山の温泉があり、多くの山が紅葉の盛りです。ぶな原生林が林立し世界遺産に指定された白神山地、日本一深い湖の田沢湖、みちのくの小京都と称される角館等の観光地も沢山ございますので、この機会に是非お立ち寄りいただきたいと思っております。また、秋田県は日本酒の文化であり、美味しい日本酒を醸しております。美味しい秋の味覚ともにご堪能いただければ幸いと存じます。

最後になりましたが、長年にわたり学校保健活動の充実のためご尽力され、顕著な功績をあげられて文部科学大臣表彰、日本薬剤師会学校薬剤師賞、感謝状を受賞される皆様に敬意を表しますとともに、本日ご参加の皆様のご活躍を祈念いたしましてあいさつといたします。



祝 辞

文部科学大臣

下 村 博 文

第63回全国学校薬剤師大会の開催を、心からお祝い申し上げます。

本大会に御参会の皆様には、日頃から学校保健活動の充実のため御尽力いただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

また、長年にわたり学校保健の普及と向上に御尽力いただき、顕著な功績を上げられ、本日、学校保健表彰の栄に浴された皆様方に対し、深く敬意を表するとともに、心からお祝い申し上げます。

学校薬剤師の皆様には、学校の環境衛生検査の実施や医薬品等の管理に関する指導助言、さらには児童生徒等の健康相談、保健指導に至るまで、広く学校における保健管理の推進に御尽力いただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。また、保健教育における医薬品の使用に関する指導や特別活動等における薬物乱用防止教室においても、その講師を務めていただくなど、重要な役割を担っていただいております。

さて、本年8月に策定された「第四次薬物乱用防止五か年戦略」では、「青少年、家庭及び地域社会に対する啓発強化と規範意識向上による薬物乱用未然防止の推進」を青少年による薬物乱用の未然防止に向けた目標として、薬物乱用防止教育及び啓発の充実強化、合法ハーブと称して販売される薬物等、多様化する乱用薬物に関する啓発等の強化を目指した取組が求められており、今後も学校薬剤師の皆様の一層の活躍が期待されるところです。

こうした中、「生涯を通じて心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進～生命（いのち）をはぐくむ学校薬剤師～」をテーマに本大会が開催されますことは、誠に時宜にかなったものであり、御参会の皆様にとりまして実り多い大会となりますよう心から祈念しております。

結びに、本大会の開催に御尽力いただきました公益社団法人日本薬剤師会、一般社団法人秋田県薬剤師会をはじめ関係の皆様には感謝するとともに、本大会の成功を祈念し、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

秋田県知事

佐 竹 敬 久

第63回全国学校薬剤師大会が、ここ秋田県において盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、全国各地からお越しいただきました皆様を心から歓迎いたします。

学校薬剤師の皆様には、学校保健の充実を図るため、日頃から健康の保持増進や健康教育の推進に御尽力いただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

また、永年にわたり学校保健の普及と充実に取り組み、多大な御功績を残され、本日、表彰の栄に浴された方々には、心よりお祝い申し上げます。

さて、教育現場を取り巻く環境は、近年の自然環境や社会環境の変化、生活様式の多様化などにより、めまぐるしく変わってきております。

全国には、連日の猛暑で熱中症対策が必要な地域がある一方で、記録的な豪雨に見舞われる地域もあるなど、異常気象の発生は、学校の環境衛生に大きな影響を与えております。また、違法ハーブなどの薬物乱用は、インターネットの普及により、一部の地域に限られた問題ではなく、他の地域においても何時でも起こり得る可能性があり、すべての学校関係者が危惧しなければならない課題となっております。

こうした課題に的確に対応し、学校における児童生徒の健康の保持増進等を図るためには、学校薬剤師の皆様による専門的な知識・経験を活かした保健指導や学校環境衛生のさらなる充実が不可欠であります。

このような中、本県におきまして、全国の学校薬剤師の皆様が一堂に会し、「生涯を通じて心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進～生命（いのち）をはぐくむ学校薬剤師～」をテーマに、学校保健活動についての研修と情報交換が行われますことは、誠に意義深いことであります。

皆様におかれましては、この大会で得られた有益なご提案やご意見を、今後の学校保健の一層の充実に活かしていただきますようお願い申し上げます。

秋田には、ユタカに実る農村がある、うまい米からうまい酒をつくる、日本一の子ども力を育む、豊かな森をつくりその森に学ぶ、歴史・文化を伝承することなど、日本が失いつつあるニッポンの本当の良さが、秋田では大切に受け継がれ、残されております。是非この機会に、本県の自然や伝統文化、秋の味覚、人々の心の温かさなどの魅力を体感していただき、秋田御滞在の良き思い出にしていただければ幸いです。

結びに、大会開催に御尽力いただきました公益社団法人日本薬剤師会、一般社団法人秋田県薬剤師会をはじめ関係の皆様へ深く感謝申し上げますとともに、第63回全国学校薬剤師大会の御成功を心から祈念し、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

公益財団法人 日本学校保健会

会 長 横 倉 義 武

第63回全国学校薬剤師大会の開催を、心からお祝い申し上げます。

本日、ご参集の皆様には、日頃から児童生徒の健康教育に熱心にお取り組み頂き、献身的なご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。また、本会の学校保健活動へのご支援・ご協力に対しましても厚く御礼申し上げます。

本日、表彰の栄に浴されます皆様には、敬意を表しますとともに、お祝い申し上げます。

さて、近年、子どもたちを取りまく環境の変化はめまぐるしく、これに伴う心身の健康課題も多岐にわたってまいりました。大人社会と同様に子どもたちの精神的ストレスの対処が求められる傾向にあります。このことは青少年の様々な問題行動にも関連しているとの専門家の指摘もあります。薬物乱用防止教育の新たな課題に未成年者の「向精神薬の乱用」上げられます。他の乱用薬物が減少傾向にあるなか、増加傾向を示す特異な状況が指摘されており、これら課題解決の方策として「医薬品の正しい使い方」の教育が求められております。

この様な中、皆様もご承知の様に、今日的緊急課題である「アレルギー疾患」に関する対応も求められております。本会が文部科学省指導の下、『学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン』を全国の学校に配付してから5年が経過いたしました。この度の痛ましい事故から、全国で様々なアナフィラキシーに関する研修会が開催されておりますが、根本的な取組みとして、学内に「アレルギー疾患対策委員会」を組織し、日常的に学校と地域医療関係者で組織的対応をすることが重要なことと認識しております。今以上に、学校と三師会等関係者が連携を強化し対応して頂きたいと願っているところでございます。

日本学校保健会では昨年度末、『自信を持って取り組める医薬品の教育』に関する実践事例集を発行しております。この度、文部科学省作成の『学校において予防すべき感染症の解説』も発行いたしました。また、『学校環境衛生活動実践事例集』が今年度末の発行を予定しております。

今後も子ども達の健康課題解決に寄与すべく皆様と共にその役割を果たさせていただきます。ご支援賜りますよう、よろしく願いいたします。

結びになり恐縮でございますが、本大会の開催にあたり、ご尽力頂いた公益社団法人日本薬剤師会、一般社団法人秋田県薬剤師会をはじめ関係各位に敬意を表し、ご参会の皆様のご健勝と本大会の益々のご発展を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

秋田県教育長

米 田 進

第63回全国学校薬剤師大会が、「生涯を通じて心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進～生命をはぐくむ学校薬剤師～」の主題のもと、全国各地から多くの学校薬剤師の皆様をお迎えし、秋田県におきまして盛大に開催できますことは誠に喜ばしく、御来県を心より歓迎いたします。

また、長年にわたる学校保健の充実・発展への御功績が認められ、本日表彰の栄に浴されました皆様に対しまして、深く敬意を表しますとともに衷心よりお祝い申し上げます。

さて、近年、青少年の抱える健康課題が多様化、深刻化する中で、未成年による喫煙や飲酒並びに青少年による薬物乱用も課題の一つであり、学校における喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導の充実・強化が求められています。さらに、児童生徒の健康を維持し、学習能率の向上を図るためには、健康的で、快適かつ安全な学習環境を作り上げることが必要であり、そのための学校環境衛生活動は学校経営において重要な役割を担っています。

こうした中、秋田県教育委員会では、専門的知識をもつ学校薬剤師の皆様の御指導と御協力のもと、薬物乱用防止教育や医薬品教育等の推進、学校環境衛生の充実をはじめ様々な健康課題の解決のための取組を推進しており、自ら健康・安全の重要性を認識し、主体的に対処していくことのできる資質や能力をもった児童生徒の育成を図っております。

この度、全国の学校薬剤師の皆様が一堂に会し、現下の諸課題を踏まえ講演や情報交換が行われますことは、本県にとりましても誠に時宜にかなったものであり、今後の学校保健及び健康教育のより一層の充実につながるものと期待しております。

おわりに、本大会の御成功と御参会の皆様のみますの御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

秋田市長

穂 積 志

全国各地から学校薬剤師をはじめ学校保健関係者の皆様をここ秋田市にお迎えし、第63回全国学校薬剤師大会が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

また、長年にわたる学校保健へのご功績により、本日、表彰を受けられます皆様方に対しまして心からお祝いを申し上げます。

さて、社会の構造的な変化を伴う現代社会において、近年の子どもたちを取り巻く環境にも、アレルギー疾患や喫煙、飲酒など心身の発達に影響を与える多くの課題があり、子どもたちの健やかな成長の確保が重要となっております。

このため、本市では、「ともにづくり ともに生きる 人・まち・くらし」の基本理念のもと、自らの課題に立ち向かい、自らの力で解決しようとする「自立」の力や、相手を思いやり、互いに認め合う「共生」の心を育むことを基本方針として、豊かな心と確かな学力、健やかな体を育てる教育に努めているところであります。

このような中、本大会において、全国の学校薬剤師の皆様方が一堂に会し、「生涯を通じて心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進」をテーマにした研修と情報交換が行われますことは、誠に意義深く、今後の学校保健活動の一層の充実につながるものと確信しております。

また、全国からお越しいただいた皆様には、是非この機会に、秋田の豊かな自然と秋田城趾をはじめとする多数の歴史文化や伝統文化、更には、豊かな食文化にも触れていただき、ご来秋のよき思い出としていただければ幸いに存じます。

結びに、本大会の開催にご尽力を賜りました関係者の皆様にご心から感謝を申し上げますとともに、皆様のご健勝とご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

秋田市教育長

越 後 俊 彦

全国各地から学校薬剤師の皆様をお迎えし、第63回全国学校薬剤師大会が秋田市において盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げますとともに、皆様には、日頃より、子どもたちを取り巻く学校環境の整備について、ご尽力いただいておりますことに改めてお礼を申し上げます。

また、長年にわたり、学校保健の普及と向上に尽くされ、本日、表彰を受けられます皆様方に対しまして、深く敬意を表すとともに、心からお祝いを申し上げます。

さて、近年の社会環境や生活様式の急激な変化は、子どもたちの心身を取り巻く環境にも影響を及ぼしており、生活習慣の乱れや喫煙、飲酒、薬物乱用などの問題行動、揮発性有機化合物などによるアレルギー疾患等、子どもたちの健康課題が多岐にわたっております。

皆様には、日頃から学校環境衛生検査や、児童生徒への保健指導、健康相談等でご尽力いただいておりますが、平成24年度から、中学校保健体育に新たに盛り込まれた「医薬品の適正使用」等の指導に関しても、学校と連携しながら、さらなる学校保健の充実のため、ご協力をよろしくお願いいたします。

本市では、将来都市像の一つに「人と文化をはぐくむ誇れるまち」を掲げ、生涯にわたり学習・文化・スポーツ活動に取り組める環境の中で、誰もが、目標に向かって成長し、希望に満ちた生活を送ることができるよう、元気な秋田市づくりに取り組んでおり、学校教育においては、「自立と共生の力をはぐくむ学校教育の充実」を基本方針として、豊かな心と確かな学力、健やかな体をはぐくむ教育の充実に努めているところであります。

このような中、「生涯を通じて心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進 ―生命(いのち)をはぐくむ学校薬剤師―」をテーマに本大会が開催されますことは、大変意義深いことであり、今後の学校保健活動の一層の充実につながるものと期待いたしております。

最後になりましたが、本大会の開催にあたり、ご尽力を賜りました公益社団法人日本薬剤師会、一般社団法人秋田県薬剤師会をはじめ、関係者の皆様に、心より感謝を申し上げますとともに、皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

秋田県学校保健連合会

会 長 小山田 雍

第63回全国学校薬剤師大会の開催を担当するにあたり、秋田県学校保健連合会を代表し、一言ごあいさつを申し上げます。

ご参会の皆様をはじめ、全国の学校薬剤師の方々におかれましては、平素から学校環境衛生や薬物乱用防止はもとより、広く学校保健への熱意に満ちたご尽力に対して、深甚なる敬意と感謝の意を表します。

またこの度、表彰の栄に浴される方々には、長年に亘り児童生徒の健康や学校保健活動に貢献され、そのご功績に対して心からお喜び申し上げますとともに、これからも益々の発展と活躍をご期待申し上げる次第です。

平成21年に施行された学校保健安全法には、災害や事故、感染症などへの安全対策が含まれていますが、最近では生命の安全や、犯罪に関わるような「いじめ」「暴力」などが重大視され、ネットなどの情報媒体の関連が増大し、多方面の共同・連携を必要とする事例も多くなってきました。

また、麻薬に似た作用のある「脱法ドラッグ」の摘発が急激に増えていますが、本大会の主題にも掲げられているように、対策には「健康教育の推進」が不可欠と思われまます。

「薬物乱用防止」はもとより「喫煙防止」「性教育」そして「運動器疾患の予防」「がん教育」などは、教育の力が益々重要であり、その力が示される分野と考えられます。

健康課題ではアレルギーの増加が挙げられ、とくに食物アレルギーは、給食への対応や未然に防ぐために家庭と医療担当者との密接な協力と理解が必要です。

新たな課題が次々と生じる昨今ですが、全国の学校薬剤師の方々をはじめ、学校保健に関わる多くの方々が一同に会して交流を深めることは、誠に意義深いことでもあります。

またこの季節、秋田県は、豊かな自然、温泉、秋の味覚に恵まれており、所々お立ち寄りいただき、お楽しみ下されれば幸いに存じます。

ご参会の皆様にとりまして有意義な大会に終始しますことを祈念してあいさつといたします。

平成25年度 日本薬剤師会学校薬剤師賞授賞者

(順不同・敬称略)

た 田	なか 中	とし 稔	やす 泰	(北海道)
こん 近	どう 藤	ひろ 廣	き 樹	(秋田県)
ほん 本	だ 多	みち 美知	こ 子	(茨城県)
ます 増	だ 田	えい 栄	いち 一	(埼玉県)
おお 大	たき 瀧	はる 晴	え 恵	(新潟県)
ない 内	とう 藤	たか 貴	お 夫	(山梨県)
なが 永	せ 瀬		あや 文	(岐阜県)
みや 宮	た 田	ひろ 寛	こ 子	(奈良県)
ふく 福	だ 田	せい せい	こ 子	(山口県)
いま 今	いずみ 泉	てつ 鐵	や 也	(佐賀県)

平成25年度 日本薬剤師会学校薬剤師活動協力者感謝状授賞者

(順不同・敬称略)

さい 斎	とう 藤	りょう 亮	こ 子	(秋田県)
あさ 浅	だ 田	ち 知	え 恵	(愛知県)
ふか 深	み 見	ま 真	ゆみ 弓	(愛知県)
なか 中	にし 西	たえ 妙	こ 子	(愛知県)
たけ 竹	いち 市	あき あき	こ 子	(愛知県)

平成25年度 文部科学大臣表彰学校保健及び学校安全表彰受賞者

(順不同・敬称略)

いま 今	むら 村	こうさぶろう 公三郎	(北海道)	むら 村	せ 瀬	とし 利	あき 明	(岐阜県)		
おお 太	た 田	とし 敏	ひこ 彦	(秋田県)	かわ 河	にし 西	けん 健	(静岡県)		
せき 関		こう 孝	いち 一	(福島県)	き 木	また 全	まさ 勝	ひこ 彦	(愛知県)	
てら 寺	だ 田		まさる 勝	(茨城県)	はら 原	だ 田	けい 敬	こ 子	(京都府)	
きみ 君	じま 島		ただし 正	(栃木県)	きし 岸	だ 田	まさ 正	や 也	(大阪府)	
た 田	なか 中	よし 由	かず 一	(群馬県)	やす 安	ぎ 木	まさ 誠	のり 規	(鳥取県)	
かめ 亀	い 井	ゆう 雄	こう 幸	(埼玉県)	おお 大	つか 塚	こう 幸	ぞう 三	(広島県)	
お 小	ざわ 澤	えつ 悦	よ 代	(千葉県)	よね 米	もと 本	ふ 富	み 美	よ 代	(徳島県)
まる 丸	やま 山	けい 慶	すけ 祐	(東京都)	しの 篠	はら 原	ゆき 幸	お 雄	(香川県)	
た 田	なか 中	じゅん 順	こ 子	(東京都)	お 越	ち 智	やす 泰	ひこ 彦	(愛媛県)	
くり 栗	はら 原	よし 義	みつ 光	(神奈川県)	かな 金	ざわ 澤	や 彌	さ 三	へい 平	(高知県)
いし 石	くら 倉	ひろ 裕	ゆき 之	(富山県)	き 木	はら 原	み 三	ち 千	よ 代	(福岡県)
まさ 正	き 木	けん 謙	じ 二	(石川県)	こう 高	そ 祖	じゅん 順	いち 一	(佐賀県)	
ぼう 坊		まさ 正	じ 二	(福井県)	はら 原	だ 田	き 清	かず 量	(鹿児島県)	

特別講演

「解体新書と秋田蘭画」

秋田県立近代美術館 学芸主事
山本文志



山本文志（やまもと たけし）・略歴

- 1961（昭和36） 秋田県阿仁町（現北秋田市）生まれ。
- 1980（昭和55） 熊本県立八代高等学校卒業。
- 1984（昭和59） 秋田大学教育学部卒業。
- 1985（昭和60） 秋田県立花輪高等学校教諭。1993（平成5）まで。
- 1994（平成6） 秋田県立近代美術館学芸員。
主に企画展を担当。

主な論文

- 1999（平成11） 秋田蘭画・小田野直武をとりまくイメージ 『東北の洋風画』展図録
- 2003（平成15） ゆるぎなき画境の高み 画人平福百穂 『没後70年平福百穂』展図録
- 2005（平成17） 四季絵『不忍池図』について考えられること 『秋田美術41号』
- 2006（平成18） 日本画家・寺崎廣業をめぐる違和感
－日本美術院との曖昧な訣別まで 『生誕140年寺崎廣業』展図録
- 2007（平成19） 椿説・秋田蘭画 「秋田蘭画」の時代感覚と再発見への道程
『秋田美術43号』



1. 秋田蘭画とは？

- 江戸時代中期、西洋美術の陰影法・遠近法を日本の伝統絵画に取り入れたもの。洋風画
- 洋風画は長崎・江戸・須賀川の3系統。秋田藩に関わる人たちが描いたものを特に**秋田蘭画**と呼ぶ。(江戸系の秋田派)



平賀源内

2. 秋田蘭画誕生の背景

- 1773(安永2)年、秋田藩の鉱山開発のため、平賀源内が秋田へ赴く。この時、源内と直武が出会ったといわれている。

老中・田沼意次の協力

- 輸出する銅の48%が秋田産銅(宝暦4年)
→阿仁銅山



解体新書5巻 扉絵 解体図

3. 小田野直武、登場

小田野直武

- 1749(寛延2)年 秋田・角館生まれ。秋田藩御用絵師・武田円碩の弟子
- 1773(安永2)年 平賀源内と出会う。
- 1774(安永3)年 解体新書の刊行。扉絵・挿絵を描いた。洋風画「秋田蘭画」を描く。

4. 秋田蘭画の誕生

- 小田野直武が源内の下へ派遣される。
- 『解体新書』の挿絵を描く。
- 本草学に不可欠な図絵の制作→高い写実性→西洋美術

写実性の高い花鳥画≠南蘋派

+

目に見えるままの風景画≠山水画

→ 秋田蘭画

5. 「不忍池図」の謎に挑戦!?



小田野直武「不忍池図」重要文化財 秋田県立近代美術館蔵

描かれたモチーフのイメージ

方位	干支	四季	イメージ	漢字	五行	モチーフ
東	卯	春 キンセンカ	神木・日・緑	木と日	木	木と日、若葉
西	酉	秋 ソビソウ	死(浄土)・黄、白	鳥と巢	金	鳥(カラス?)
南	午	夏 シャクヤク	草木の繁茂・赤	日と草	火	植物
北	子	冬 ハス	死・女性・青、白	人と人	水	弁天・池冬景
北東	丑寅		鬼門			寛永寺
南西	未申		裏鬼門			杭

- ①女性用の薬草・漢方
- ②吉祥のモチーフ・日本の民間信仰
- ③遠近法と陰影法・西洋美術

6. 迷宮の秋田蘭画

●平賀源内、小田野直武の急死により秋田蘭画は急速に衰退。

- ①田沼意次の失脚
 - ②松平定信の台頭
 - ③蘭学への弾圧
- これらに関連づけてミステリアスにドラマティックに脚色された可能性がある。

懇 親 会

1. 開会のあいさつ 一般社団法人 秋田県薬剤師会学薬部会長 佐々木 吉 幸

2. 歓迎の言葉 一般社団法人 秋田県薬剤師会会長 松 田 泰 行

3. 来賓挨拶 秋田県学校保健連合会会長 小山田 雍

4. 乾 杯
次期開催県代表 公益社団法人 石川県薬剤師会会長 能 村 明 文

5. 祝 宴
アトラクション なまはげ郷神楽

6. 閉会の言葉 一般社団法人 秋田県薬剤師会副会長 寺 山 雅 子

司 会 AKT秋田テレビアナウンサー

谷 桐 子

大会役員名簿

大会会長 兎玉 孝

大会副会長 藤垣 哲彦

大会委員 藤原 英憲 村松 章伊 豊見 雅文

宮下 元樹 小川 善雄 日高 華代子

秋田県実行委員会

実行委員長 松田 泰行

実行副委員長 佐々木 吉幸 齋藤 節子
太田 敏彦 近藤 廣樹

実行委員 寺山 雅子 高橋 寛 山本 洋子
戸松 大樹 小丹 知子 黒澤 良彦
鈴木 豊

全国学校薬剤師大会開催地状況

回数	年度	期日	開催地	参加人員	特別講演・その他
1	1951	10/8	福岡県福岡市		全国学薬結成大会・会長選出
2	1952	8/4	宮城県仙台市		全大会において、「学校保健法制定に際し、学薬を規定することを決議、関係方面に要望」
3	1953	11/17	香川県高松市		学薬の法制化促進について協議
4	1954	10/11	鳥取県出雲市		学薬を全国各小・中学校に設置するよう関係当局へ陳情する件について協議
5	1955	10/17	福井県福井市		会員の研究発表
6	1956	10/15	滋賀県大津市		会員の研究発表
7	1957	10/17	千葉県館山市		協議が行われた
8	1958	9/19	新潟県新潟市		1 洗剤と洗浄力について 国立衛研・浦久保五郎 2 ベーパーストリップ法による大腸菌群の簡易検査法について 東京都立衛研・湯本 芳雄
9	1959	11/14	広島県広島市		1 プールの管理について 神奈川県衛研・管野 三郎 2 人体内回虫の生態と各種駆除剤の作用機序並びに駆虫の実態 医博・眞殿 順
10	1960	10/14	福島県平市		この大会から日学薬賞の表彰、感謝状の贈呈が行われた
11	1961	10/14	青森県青森市		(パネルディスカッション) 学校薬剤師はどのようにして学校の中にとけこむべきか
12	1962	11/9	静岡県静岡市		会員の研究発表
13	1963	11/18	熊本県熊本市		シチスン尿症について 熊本大学薬学部・村田敏郎教授
14	1964	11/7	石川県金沢市		加賀藩の医薬の発展 金沢大学薬学部・三浦教授
15	1965	11/12	三重県伊勢市		(パネルディスカッション) 環境衛生検査器具を早急に準備するにはどうしたらよいか
16	1966	11/11	群馬県前橋市		学校薬剤師の活動はどのようにすればよいか
17	1967	11/25	愛媛県松山市		学校薬剤師のあゆみ 日学薬副会長・永山芳男
18	1968	11/25	岐阜県岐阜市		
19	1979	11/21	鹿児島県鹿児島市		奄美大島産ハブ毒 医学博士・長 篤文
20	1970	10/26	秋田県秋田市		玉川水質調査について 秋田県衛研理科学科長・斎藤ミキ
21	1971	11/12	岡山県岡山市		食品中の慢性毒性物質について 岡山大学薬学科・蒔田政見教授

回数	年度	期日	開催地	参加人員	特別講演・その他
22	1972	9/1	北海道札幌市		
23	1973	9/28	富山県富山市		立山信仰とその歴史 富山大学文理学部長・高瀬重雄
24	1974	11/8	宮城県宮崎市		学校環境衛生上の諸問題 日本大学理工学部教授・澤村良二
25	1975	11/7	埼玉県浦和市		学校保健法制度をめぐって 日本学校安全会理事長・渋谷敬三 発ガン物質について 日薬会長・石館守三
26	1976	11/12	高知県高知市		土佐の自然美 高知県立牧野植物園園長・山脇哲臣
27	1977	11/11	兵庫県神戸市		
28	1978	9/22	岩手県盛岡市		山の神 日本雪氷学会名誉会長・高橋喜平
29	1979	10/19	愛知県名古屋市		陶磁のこま犬 FM愛知取締役会長・本多静雄
30	1980	11/7	山口県山口市		研究協議
31	1981	11/5	神奈川県横浜市		家庭における教育と健康 日本体育大学教授・池田敬子
32	1982	10/28	山形県山形市		学童の環境衛生学 山形大学医学部教授・遠藤 昇
33	1983	10/27	京都府京都市		京の町(生活と文化) 京都市歴史資料館館長・森谷尅久
34	1984	10/31	東京都		江戸の水道 日本大学理学部薬学科教授・澤村良二
35	1985	11/7	長崎県長崎市		長崎異国の文化(食を中心として) 純心女子短期大学教授・越中哲也
36	1986	10/23	栃木県宇都宮市		学校環境を人間生態的視点から考える 群馬大学医学部講師・平木陽一
37	1987	11/11	大阪府大阪市	300	マラソンランナーに学ぶ 大阪体育大学教授・塚 泰次郎
38	1988	11/9	長野県長野市	300	こころと健康 善光寺大僧正・池山一切園
39	1989	11/15	茨城県水戸市	280	人間の生態と地球の環境 国立公害研究所・人類生態研究室長・鈴木和夫
40	1990	11/14	沖縄県那覇市	300	沖縄の海を彩るサンゴたち 琉球大学理学部生物学科教授・西平守孝
41	1991	11/6	奈良県奈良市		平城京の発掘 奈良国立文化財研究所・町田 章
42	1992	11/4	山梨県甲府市		遥かなる夢に向かって 山梨学院大学講師陸上競技部監督・上田誠仁
43	1993	11/10	大分県大分市	270	高崎山の生態(サル社会) 大分市観光協会・川合幸一
44	1994	11/9	和歌山県和歌山市	350	「イメージトレーニングと心のコントロール～催眠を使って」 和歌山市教育委員会・坂口全彦
45	1995	11/15	徳島県徳島市	370	－のぞましいライフスタイル－ 「正しい食生活」 大塚製薬(株)健康推進本部長・佐藤和子

回数	年度	期日	開催地	参加人員	特別講演・その他
46	1996	11/13	佐賀県佐賀市	320	「佐賀藩洋学の先達たち」－伊藤玄朴・佐野常民を中心として－ 西九州大学講師・福岡 博
47	1997	9/24	鳥取県鳥取市	280	「水温保存の科学」－食味・品質向上の革新技術－ 水温協会理事長・山根昭美
48	1998	11/ 6	宮城県仙台市		会員の研究発表
49	1999	11/19	岐阜県岐阜市	300	シンポジウム「21世紀に向けて学校薬剤師活動の課題と取組」
50	2000	11/10	福岡県北九州市	300	「北九州市の環境対策」－公害克服とその成果の活用－ 北九州市環境局 環境保全部長・中菌 哲
51	2001	11/ 9	千葉県千葉市	300	「病原微生物・再びヒトの天敵となる」 東邦大学名誉教授・小山泰正
52	2002	11/ 8	福井県福井市	250	「化学から見た自然と人間の健康」 名古屋大学大学院工学研究科教授・原口紘亮
53	2003	11/ 7	青森県青森市	300	「縄文人の食文化 ～三内丸山遺跡から発信～」 青森県教育庁文化財保護課・齋藤 岳
54	2004	10/29	福島県郡山市	220	『児童・生徒に教える「薬の正しい使い方」』 福島県立医科大学医学部附属病院薬剤部・斎藤百枝美
55	2005	11/10	滋賀県大津市	280	「子供の脳の発達と教育」洛和会京都医療介護研究所 神経病理研究センター所長・田中順一
56	2006	11/10	島根県松江市	200	「薬育のための薬物動態学」 東京大学教授・薬学博士・澤田康文
57	2007	11/ 8	香川県高松市	240	「心豊かに生きる」 学校法人ノートルダム清心学園理事長・渡辺和子
58	2008	11/ 6	新潟県新潟市	250	「科学の目で見たおいしい・健康に良い野菜とは」 新潟薬科大学応用生命科学部教授・及川紀久雄
59	2009	11/10	広島県広島市	250	「たすきをつなぐ 心をつなぐ」 中国電力陸上競技部監督・坂口 泰
60	2010	11/18	群馬県前橋市	220	「子どもの学習意欲」 富岡賢治
61	2011	10/27	静岡県静岡市	250	「食から心身の健康を考える－地場産品を学び活用しよう－」 静岡県立大学学長 木苗直秀
62	2012	11/8	熊本県熊本市	210	「協働・育ち合う～いのち、健康、暮らしの守り人として～」 日本社会事業大学 理事長 潮谷義子
63	2013	11/7	秋田県秋田市		「解体新書と秋田蘭画」 秋田県立近代美術館 学芸主事 山本文志

第63回全国学校薬剤師大会

協 賛

(順不同)

秋田県医薬品卸業協会

株式会社ダイナミック・サニート

株式会社南部医理科

株式会社十字屋

光明理化学工業株式会社

くすりの適正使用協議会

株式会社秋田銀行

日本ウォーターズ株式会社

秋田協同印刷株式会社

秋 田 県 医 薬 品 卸 業 協 会

会 長 鈴 木 和 男

〒010-0061 秋田市卸町4丁目9番5号 (株)メディセオ内 TEL 018 (874) 7070

株 式 会 社	メ デ ィ セ オ	TEL 018 (865) 0111
株 式 会 社	バ イ タ ル ネ ッ ト	TEL 018 (824) 3411
株 式 会 社	小 田 島	TEL 018 (862) 6666
株 式 会 社	マ ル タ ケ	TEL 018 (866) 6310
東 邦 薬 品 株 式 会 社		TEL 018 (823) 2366
株 式 会 社	恒 和 薬 品	TEL 018 (866) 7717
株 式 会 社	ス ズ ケ ン	TEL 018 (867) 8815

厨房・客室の衛生管理に不安はございませんか？

ねずみ・害虫管理

(トコジラミ・ナンキンムシ)



食中毒対策・衛生管理セミナーなど 食品衛生コンサルティング



厨房清掃



 **株式会社 ダイナミック・サニート** (本社:秋田市)について

秋田、岩手、青森県内の旅館・ホテル、食品工場、製薬工場、病院、福祉施設、学校給食施設、飲食店など、高い衛生レベルが求められる現場で様々な衛生管理サービスを提供しております。

- ネズミ・害虫防除 (低薬剤による駆除、予防管理)
- トコジラミ(南京虫)の駆除
- 微生物・食中毒菌の対策 (厨房の菌検査、殺菌・消毒)
- 客室のカビ・ダニ対策・消臭・消毒
- 特殊清掃 (貯水槽、空調ダクト・レンジフードの油汚れ、排水管)
- 食品衛生コンサルティング (環境管理・従業員教育)

お気軽に
お問合せ下さい！

担当:金澤太郎 080-5177-7203

 **株式会社 ダイナミック・サニート**

〒010-0802 秋田市外旭川字三後田175

TEL:018-868-2568 FAX:018-868-5211

秋田 大館 横手 盛岡 弘前

www.dynamic-snt.co.jp

NANBU IRIKA CORPORATION

医療・バイオテクノロジー・情報ネットワークシステム



ラボラトリワークフローのための分析機器、ラボ用機器、ソフトウェア、消耗品、試薬、サービスとハイエンドの研究開発からルーティン分析まで、あらゆる分野の研究・分析・製造・診断で活用される製品とサービスをご提供します。

株式会社 南部医理科

(医療機器事業、臨床検査システム事業、バイオ関連事業、システム開発事業)

<本社> 〒028-3601 岩手県紫波郡矢巾町高田 10-37

TEL019-697-3264/FAX019-697-3519

●医療情報開発センター ●仙台支店 ●秋田営業所 ●弘前営業所 ●八戸営業所 ●郡山営業所
●山形営業所

理化学機器／分析機器／研究用試薬／実験設備 販売

株式会社 十字屋

◆取扱メーカー◆

アドバンテック東洋(株)
ザルトリウス・メカトロニクス・ジャパン(株)
東亜DKK(株)
柴田科学(株)
ナカライテスク(株)
オリンパス(株)
アズワン(株)

ビーエルテック(株)
大起理化工業(株)
(株)藤原製作所
メイワフォーシス(株)
(株)ダルトン
日本分光(株)
(株)三商



V-630



DT-810

溶出試験器／Dissolution Tester



〒010-0921 秋田市大町1丁目4-20

TEL : 018-862-2004

FAX : 018-863-2319

E-mail : jyujiya@cna.ne.jp

一酸化炭素、二酸化炭素、ホルムアルデヒドの測定に。

北川式 ガス検知器

AP-20



北川式ガス採取器 AP-20 はグリップ部分に **抗菌性** を保持させ、より衛生的に進化しました。抗菌試験においてもMRSA、大腸菌、ブドウ球菌及び肺炎球菌に効果があります。カラーバージョン（赤、青、黄）もあります。

一酸化炭素検知管
106SC

測定範囲 1~50ppm

二酸化炭素検知管
126SF

測定範囲 100~4000ppm

CO・CO₂モニタ

UM-300



- 幅広い測定レンジで、ビル環境及び室内環境測定に最適です。
- 感度校正は数値入力後、標準ガス吸引による自動校正です。
- 高安定性により連続測定に最適です。
- データログ機能搭載によるトレンド分析が出来ます。
- 3電源に対応しており、安心して便利に使えます。
(標準アルカリ乾電池)

環境測定用検知管シリーズ

エアースンプラ対応検知管

測定対象物質	型式	測定範囲
ホルムアルデヒド	710	0.01~0.48ppm
ホルムアルデヒド	710A	0.05~2.0ppm
ホルムアルデヒド	713	0.01~0.50ppm
トルエン	721	0.05~1.0ppm
キシレン	721	0.1~1.4ppm
エチルベンゼン	721	0.05~1.0ppm
トルエン	723	50~800 μ g/m ³
P-ジクロロベンゼン	730	0.01~0.4ppm
二酸化窒素	740	0.01~0.2ppm
トリクロロエチレン	750	30~920 μ g/m ³
テトラクロロエチレン	760	30~920 μ g/m ³

環境測定用

エアースンプラ

S-27



小型・軽量で可搬性に優れたエアースンプラです。厚生労働大臣の指定（指定番号1502）を受けたホルムアルデヒド検知管（710型）や環境測定用検知管シリーズと併せて環境管理にお役立て下さい。

光明理化学工業株式会社

本社 〒213-0006 川崎市高津区下野毛1-8-28
 大阪支店 〒564-0053 大阪府吹田市江の木町1-38 (西谷東急ビル)
 札幌営業所 〒060-0004 札幌市中央区北四条西12-1-28 (日宝北四条ビル6F)
 仙台営業所 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代3-2-14 (高時ビル)
 北関東営業所 〒362-0048 埼玉県上尾市大字川217-3 (藤和ビル)
 名古屋営業所 〒460-0015 名古屋市中区大井町3-15 (日重ビル)
 福岡営業所 〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-27-1

TEL. 044-833-8900 FAX. 044-833-2671
 TEL. 06-6385-5100 FAX. 06-6385-5588
 TEL. 011-209-3675 FAX. 011-272-9250
 TEL. 022-782-1585 FAX. 022-782-1586
 TEL. 048-725-5682 FAX. 048-781-3078
 TEL. 052-332-5175 FAX. 052-332-5176
 TEL. 092-431-8803 FAX. 092-481-5037

URL <http://www.komyokk.co.jp> E-mail qa@komyokk.co.jp

協議会の教材を活用した授業の一例を紹介します

くすり教育 出前研修

くすり教育に関心をお持ちの
教諭や学校薬剤師など…
くすりの正しい使い方など
「くすり」について関心をお持ちの方々…

研修内容：

- [1] 「くすり教育」を取巻く背景
- [2] 薬の基礎知識
- [3] 薬の正しい使い方
- [4] 副作用について
- [5] 授業の一例
- [6] 教材の紹介

費用：

講師2名分の旅費 及び
資料往復送料

※10名以上のグループ



最新の教材・教育情報は・・・

<http://www.rad-are.com/>

くすり教育

検索



くすりの適正使用協議会

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町一丁目4番2号
日本橋Nビル8階

TEL：03 (3663) 8891

FAX：03 (3663) 8895

E-mail：info@rad-ar.or.jp

あなたと支える、あきたの未来。

地域の皆さまの福祉・医療の充実を応援いたします。



あきぎん吹奏楽団 音楽フェスティバル

入場料の一部を社会福祉
団体に寄付しました。



女子バスケットボール部 バスケットボールクリニック

秋田県内バスケットボール競技の
レベル向上のため各地で開催しました。



スタジオジブリ レイアウト展 協賛

招待券を秋田県社会福祉協議会を
通じて県内の施設へ贈呈しました。



あきぎん 森づくり活動

八峰町町有林内の「あきぎんの森」に
ブナの植樹を行いました。



親子でチャレンジ! あきぎんワクワク探検隊

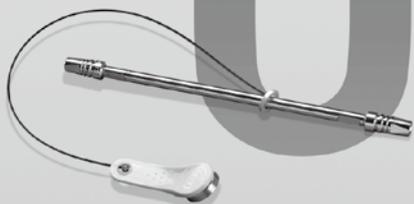
クイズやゲームを楽しみながら
お金の大切さを学んでいただきました。

私たち〈あきぎん〉は皆さまのお役に立つ金融機関を目指し、
これからも地域に貢献できる活動に取り組んでまいります。

 **秋田銀行**

真のUPLC性能を実現する唯一のソリューション

UPLC®



■ 8種類のパーティクル基材

- BEH 125、130、200、300、450 Å
- HSS 100 Å
- CSH 130 Å
- CORTECS 90 Å

■ 26種類のケミストリー

(C₁₈、Phenyl-Hexyl、C₈、極性基内包型、HILIC、Amide、DiolからCyanoやPPFまで)

■ 7種類のアプリケーション専用ケミストリー

(SEC、アミノ酸用、タンパク質用、ペプチド用、オリゴヌクレオチド用から糖鎖用まで)

真のUPLC性能を得るためには、ACQUITY UPLC®システムソリューション (ACQUITY UPLC & UPLCカラム) が必要です。

カラムケミストリー詳細&ACQUITY UPLC システムソリューションの詳細は www.waters.com にアクセスしてください。

©2013 Waters Corporation. Waters, UPLC, ACQUITY UPLC および The Science of What's Possible は Waters Corporationの登録商標です。BEH Technology および CSH は Waters Corporation の商標です。



Waters

THE SCIENCE OF WHAT'S POSSIBLE.®



わたしたちは、
「ワクワク」を
お届けします。

akyodo

秋田協同印刷株式会社

〒010-0976 秋田市八橋南二丁目10-34
TEL.018-823-7477 FAX.018-824-2864
E-mail: info@akyodo.co.jp HP <http://www.akyodo.co.jp/>

協同は、
進化し
続けます!



第63回全国学校薬剤師大会

平成25年11月7日

編集 / 第63回全国学校薬剤師大会実行委員会

一般社団法人 秋田県薬剤師会

〒010-0874 秋田県秋田市千秋久保田町6-6

TEL : 018-833-2334 FAX : 018-835-2576
